

運賃値下げとテーマパークの誘致に向けて

北総鉄道の1,000億を越える借入金残高と流動資産の推移は下表のとおりです。

借入金残高推移表

(単位：百万円)

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
期首借入金残高	139,441	132,360	129,911	127,297	125,467	120,733	116,274
当期借入金返済額	7,861	3,028	3,194	2,410	4,813	4,539	4,282
期末借入金残高	132,360	129,911	127,297	125,467	120,733	116,274	111,992

18年度は推定

滞留資金推移表

(単位：百万円)

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
期首滞留資金	12,830	8,479	9,838	11,327	13,678	12,592	11,912
当期資金過不足	5,131	779	909	1,771	1,166	760	2,047
期末滞留資金	8,479	9,838	11,327	13,678	12,592	11,912	9,865

18年度は推定

この表からもわかるように、現在、年間40数億円という多額の元本を支払っているため、平成18年度(推定)資金不足は約20億円となり、期末の滞留資金は100億円を切るに至っています。

北総鉄道は、平成12年度から利益が出る体質となり、同16年度からは法人税すら払っているのだから、その原資で運賃を安くすべしという考えがあります。しかし、北総及び京成は、大株主である県や沿線市村の強い要望に対しても、首を縦に振ろうとしません。

手持ち資金はあと5年でなくなる

その理由が、上記表に示したとおり、このまま推移すれば、あと5年で手持ち資金はなくなり、元本を返済するため、又借金を重ねなくてはならなくなるというものです。

仮に、成田新高速鉄道が予定どおり開通しなければ、もっと大変なことになるとも言っています。

私は、北総の言い分をそのまま承認するわけではありませんが、利益が出たからすぐその資金で運賃を安くしろと言うのは、いささか早計にすぎると考えています。

運賃収入を増やして運賃値下げを実現する

私は、現在の利益の分配理論から運賃値下げを要求するより、全体のパイ(運賃収入)を増やすことによって、それを実現する方が効果的と考えています。

私が、国際的なテーマパークの誘致に取り組もうと言っているのは、この意味です。

仮に1,500万人の集客施設ができ、1,000万人が鉄道に乗れば、北総の片道平均単価は500円くらいですから往復1,000円となつて、100億円の運賃収入が見込めることとなります。北総の年間収入は120億円くらいですから、ほとんど倍増が可能とります。

従って、北総の運賃を半額にすることも、夢ではなくなるのです。

成田新高速鉄道の開通によって、千葉ニュータウンは急速に国際化する

この北総地区は、成田新高速鉄道の開通によって、日本の表玄関成田と直結し、急速に国際化がすすめられると思います。この時期に、ディズニーランドやディズニーシーとは一味違った切り口、国際交流や国際教育をキーワードとするテーマパークをつくることは極めて有意義なことだと考えますが、如何ですか。

住職学遊のまちづくりが実現できる

千葉ニュータウンの「住・職」は充実してきましたが、「学・遊」ことに「遊」は全くありません。

この国際的なテーマパークができれば、住職学遊のバランスのとれたまちづくりが実現できると考えます。

税金は一銭も使いません

尚、この仮称「ワールドパーク・ジャパン」は県や沿線市町村による第3セクターで考えるものではありません。税金は一銭も使わず、あくまで元気のいい民間企業の誘致によって、実現を図ろうとするものです。

下に、私が今迄提案している仮称「ワールドパーク・ジャパン」のプロジェクトアウトラインを图示します。ご笑覧下さい。

私の国際的なテーマパーク誘致構想

(仮称)ワールドパーク・ジャパンプロジェクト アウトライン

2010年 成田新高速鉄道開通オープン (国道464号北千葉道路完成) 成田と都心が最速36分で結ばれる

<意義> ◇空港アクセスの利便性向上(入国外国人745万人内385万人が成田利用)
◇地域振興へのインパクト(千葉ニュータウンの早期熟成、鉄道運賃の低減化)

2010年の開通オープンを起爆剤にした新たな国家的プロジェクトを!

◆背景

観光立国 (国土交通省 総合政策局) ビジットジャパン キャンペーン

◎政府は、外国人旅行者の訪日を促進するため、ビジット・ジャパン・キャンペーンを実施している。
◎関係府省、自治体及び民間企業等が官民一体となって促進する実施本部が立ち上げられた。
◎「2010年までに1,000万人の訪日外国人誘致」を実現するための活動を開始している。

観光立県 国際空港 NARITA の可能性を最大限に活用

◎千葉デスティネーション・キャンペーン
◎成田空港のポテンシャルを活用した国際交流&国際教育の推進のため

新たな観光産業を創出する (明日の千葉を拓く10の力より)

◆プロジェクトの骨格

2010年 オープニングイベントの開催

◇鉄道・道路開通記念セレモニーイベント
◇千葉ニュータウン花博の開催(約6ヶ月)

世界 (グローバル) 楽 (エンターテインメント)

国際交流をテーマとする第3のテーマパーク誘致

◇常設型の大規模な国際情報発信拠点
◇世界の物産とエンターテインメントの世界館を20館
◇日本の過去・現在・未来をテーマとする日本館を10館

"ワールドパーク・ジャパン(仮称)"

世界に一番近い場所が感動体験空間に